

教職総合演習 A

テーマ：学校と地域との関わり

状況：規模 800 人の普通科高校。始業時（8 時 20 分）。終業時（3 時 30 分）。

住宅地の中にあり、通学路の道路幅は車 2 台がすれ違えるほどの幅。

8 時 10 分～20 分の時間帯に登校する学生集中。

3 時 30 分～4 時の時間帯に下校する学生集中。

4 時～6 時にクラブ活動。

苦情：登下校時の学生の話し声がうるさい。

出勤のための車の出庫の邪魔。

玄関前の花壇や門柱がよく悪戯される。

学生による菓子袋やガムなどのゴミについて住民の不満。

登場人物：A（学校長）、B（担当教員）、C（20 代後半の近所の母親。赤ちゃんが眠れない）、

D（40 代の会社員。車の邪魔）、E（60 代の主婦。ゴミや花壇について不満）

記録・報告者 1 グループ計 6 名

問題の所在：登下校の学生に対する指導をこれまでも学校に要求。さらに通学路の変更を要求。学校はホームルームで学生に注意したり、通学路の一部に教員を配置して監視したりしているが効果が上がっていない。このことに住民側の不満は募ってきている。

住民 C、D、E が学校に問題の解決と通学路の変更を要求。A と B が応接。

場所：校長室

課題：どのような話し合いがなされ、どのように解決への方向が模索されるのか。あるいはできないのか。

プロセス 1：20 分間の話し合い。

報告 1

プロセス 2：20 分間の話し合い。

報告 2

全体での討論

教職総合演習 A

| 学籍番号 | 名前 |
|------|----|
| | |

プロセス 1

問題の認識

話し合いの推移

話し合いで明らかになってきたこと

話し合いの結果

合意できる点とできない点

次のプロセスへの課題

プロセス 2

問題の認識

話し合いの推移

話し合いで明らかになってきたこと

話し合いの結果

合意できる点とできない点

次のプロセスへの課題